

あとがき

動物を育てるという経験は、命に対する責任、そして責任という言葉の意味を我々に教えてくれます。親御さんの中には子供に動物を飼うという責任を負わせるべきか悩む方もいるかもしれませんが、問題はやらせるかやらせないかという事ではありません。動物を飼うための材料が揃っているかどうかです。飼ってはじめて子供に責任がかかるのです。子供が自ら責任を持って世話をし、良い豚に仕上げるための技術を習得しようとしなければなりません。この決定はショーを経験した人と一緒に計画全体について話し合った上で決めなければなりません。育成計画のために必要な時間や作業について、慎重に検討しなければなりません。

豚に限らず、家畜を育てて共進会に出品した経験は、一生の思い出となるでしょう。親御さんは子供たちが 4-H クラブや FFA に加入するように勧めなければなりません。たとえその動物が 1 つも賞を取れなかったとしても、その経験は役立ちます。大人たちでも、ずっと昔、子供の頃に家畜を育てた思い出をうれしそうに私に語ってくれます。

楽しい豚飼いを！

ドン サンダース